

？ ため池決壊の原因

地震

地震の揺れによって堤防に亀裂が入ると、ため池が決壊するおそれが生じます。活断層が多くある日本では、どこにでも直下型地震が発生する可能性があるため、大きな地震の発生後には注意が必要です。

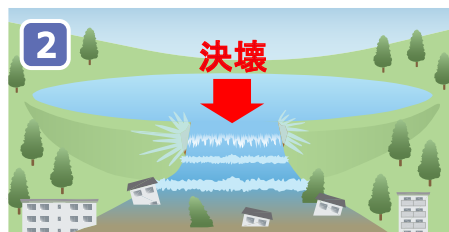
大雨

大雨等により、ため池の水位が上昇すると堤防が浸食され、決壊の可能性が高まります。短時間に激しく降る大雨(ゲリラ豪雨)が増加している昨今、集中豪雨等の状況では最大限の警戒が必要です。

ため池決壊の起こり方



大きな地震、大雨等で堤防が損壊(亀裂や漏水など)



破損した堤防が貯水に耐え切れず「決壊」堤防前面の滑落箇所から漏水など

ため池決壊による被害

- ため池の水や土砂が濁流となって、同時に押し寄せます。
- 決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定

状況に応じて、早めの避難を

	状況により、すばやく避難しましょう 避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。		家族には連絡メモを残そう 外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。
	防災メモを持とう 高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。		集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
	車での避難は控えて 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。		安全なルートで避難 避難所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
	持ち出し品は最小限に 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。		避難所では指示に従いましょう 避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

i 避難情報と、とるべき行動

災害の発生が予想される状況では、ラジオ・テレビなどで正確な情報を収集し、適切な行動をとってください。また、周りの様子にも注意しましょう。

ため池の異常に気付いたら、すぐに緊急時連絡先へ通報してください！

緊急時連絡先
警 察 110
救 急 119
有田市役所 ... 0737-83-1111

避難情報	住民のみなさんに求める行動
高齢者等避難	避難の準備を始めてください。 ● 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、家族等との連絡、非常時持出品の用意等、避難の準備を始めましょう。
避難指示	ただちに避難してください。 ● 速やかに避難先へ避難しましょう。 ● 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。



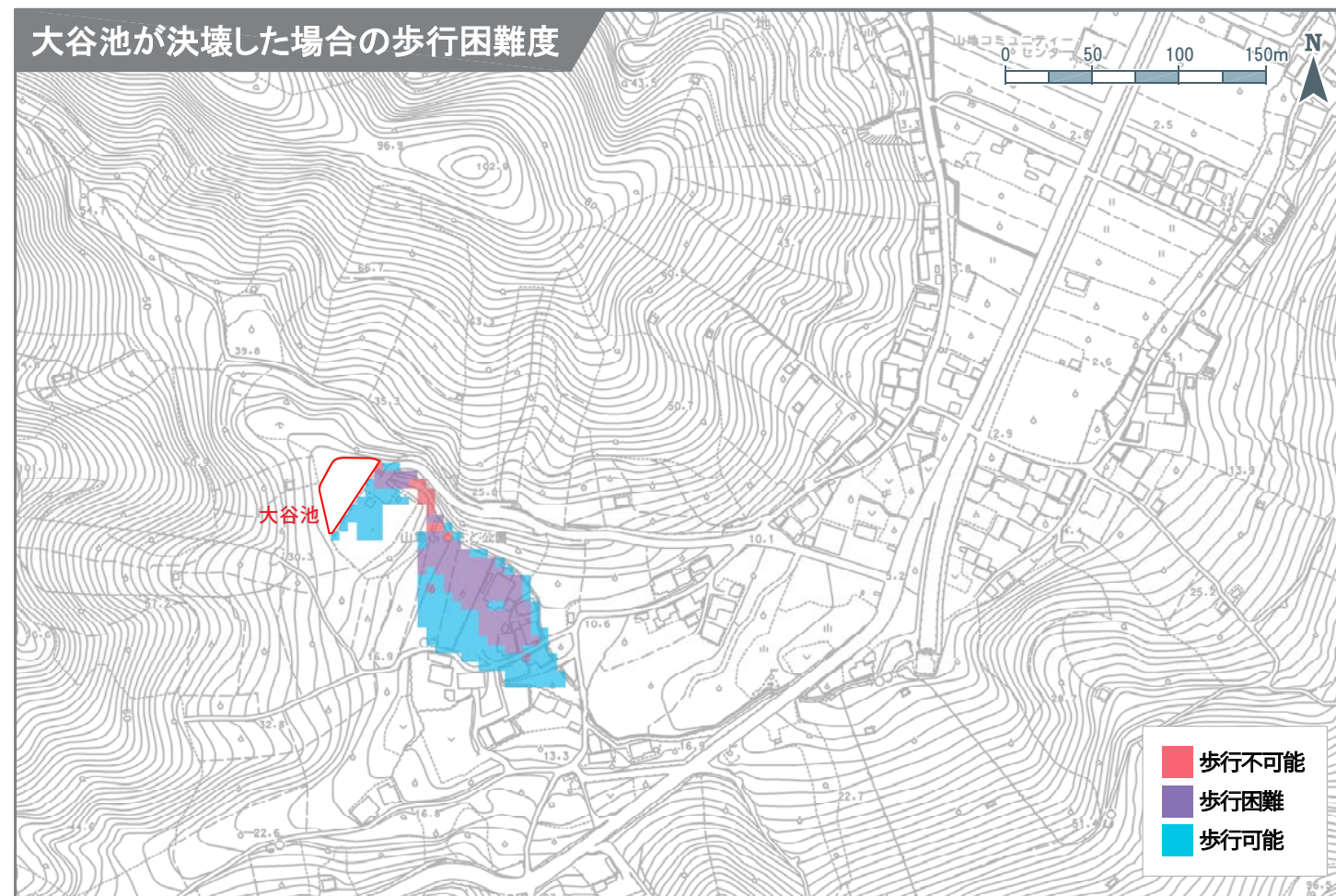
浸水後の避難の困難度

シミュレーションにより算定された各地の浸水深・流速から、歩行困難度の目安をマップに示しました。「歩行不可能」「歩行困難」と判定された地域では、浸水する前の事前避難が重要です。

浸水深・流速による歩行困難度の目安

浸水深	流速	0.5m/s未満	0.5m/s～1.0m/s	1.0m/s以上
		緩 ←		→ 急
1.0m以上	深	困難	不可能	不可能
0.5m～1.0m	↑ ↓	可能	困難	不可能
0.5m未満	浅	可能	可能	困難

大谷池が決壊した場合の歩行困難度



非常時持ち出し品

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておくといいでしょう。

●食品・水

- ☐ 飲料水(500mlペットボトル程度)
- ☐ 乾パン・クラッカー・缶詰など、火を通さないでも食べられる物



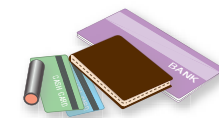
●救急・安全対策

- ☐ 救急医薬品(絆創膏・傷薬・包帯)
- ☐ 病人やお年寄りの常備薬
- ☐ ヘルメット(防災ずきん)



●貴重品

- ☐ 現金
- ☐ クレジットカード類
- ☐ 預貯金通帳、印鑑
- ☐ 権利証書
- ☐ 免許証
- ☐ 健康保険証



●日用品

- ☐ 筆記用具
- ☐ ろうそく、ライター
- ☐ ナイフ、缶切り
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ ビニール袋



●衣類など

- ☐ 衣類(下着・上着)
- ☐ タオル
- ☐ 毛布
- ☐ 手袋、軍手



●その他

- ☐ 洗面用具(歯ブラシ・石けん)
- ☐ ほ乳びん
- ☐ 紙おむつ
- ☐ メガネ

